風のたより　５月号

新緑が目に鮮やかで風薫るさわやかな季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか？今回の風のたよりは、医務室から看取りケアについてお送りさせていただきたいと思います。

風の家で行っている「看取りケア」とは、心身の機能低下や病気の悪化により衰弱が明らかで、回復が見込めない状態であることから、医師の診断を受け、ご本人やご家族の希望を伺った上で、ご本人・ご家族の同意の元、ご本人・ご家族の心身の負担軽減を最大限に考えながら最期の時を施設で過ごしていただくために実施するケアのことです。

風の家では「住み慣れた場所で最期まで“暮らす”」という考えで、看取りケアを行っています。施設にいる多くの職種がそれぞれの専門性を活かしながら協力し、ご利用者が慣れ親しんだ環境で最期まで生活を営むことができるよう、サポートしていきます。看取りケアを行うときに最も大切になるのは、ご本人がどういう価値観で、どういう風に最期の時を過ごしたいと考えているかです。

みなさんはもしもの時に備えて、大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるか、ご家族とお話をされたことはありますか？家族間で話し合うことはとても大切なことで、話し合いを通じ、価値観を共有することで最期の時間をどこで、どのように過ごしたいか、希望に沿った選択ができるのではと思います。

このような、もしもの時に備えて自らが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療、ケアチームなどと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを「アドバイス・ケア・プランニング」と呼びます。ただ、自分のこれからのことについて考えたくない、知りたくないと考えている方もいらっしゃるかと思います。アドバイス・ケア・プランニングは無理に取り組むものではなく、一人一人の気持ちに寄り添い、十分な配慮を行っていくものでもあります。

また、看取りケアのサポートの中には、ご本人だけではなく、ご家族へのサポートも含まれています。ご家族の不安や葛藤、気持ちの迷いなどにも寄り添い、ともにご利用者の最期の時を共有していきたいと考えておりますので、些細なことでもお気軽にスタッフにお声かけください。

風の家での看取りケアについてわかりやすいようにパンフレットを作成しました。気になる方は事務所・医務室にお声かけください。郵送での対応も可能です。

令和５年５月

社会福祉法人薫風会　風の家
〒807-0801
八幡西区大字本城 3378-1
TEL：（093）695-7000